特定個人情報保護評価書(基礎項目評価書)

評価書番号	評価書名
18	子どものための教育・保育給付等に関する事務 基礎項 目評価書

個人のプライバシー等の権利利益の保護の宣言

名古屋市は、子どものための教育・保育給付等に関する事務における特定個人情報ファイルの取り扱いについて、特定個人情報の漏えいやその他の事態発生による個人のプライバシー等の権利利益に与える影響を認識し、このようなリスクを軽減するための適切な措置を講じたうえで、個人のプライバシー等の権利利益の保護を実施していることを宣言する。

特記事項

評価実施機関名

名古屋市長

公表日

令和7年9月1日

I 関連情報

1. 特定個人情報ファイルを取り扱う事務					
①事務の名称	子どものための教育・保育給付等に関する事務				
②事務の概要	子どものための教育・保育給付等に関する事務は、子ども・子育て支援法及び児童福祉法に基づき、以下の事務を行う。 (1)教育・保育給付認定事務(認定要件の確認、認定区分の決定、給付) (2)施設等利用給付事務(認定要件の確認、認定区分の決定、給付) (3)負担区分決定事務(利用料階層の決定、実費徴収補足給付の実施) (4)保育所等の利用調整事務(保育所等の利用申請受理、利用調整、) (5)民間保育所保育料、公立保育所保育料、公立幼児給食費、公立延長保育料の収滞納管理 上記の事務を行うために必要となる情報を入手するため、行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律(平成25年5月31日法律第27号。以下「番号利用法」という。)第9条第1項、同法別表9の項及び127の項で定める範囲内で、他情報保有機関への照会を行う。				
③システムの名称	福祉総合情報システム、情報連携基盤システム(庁内連携システム、宛名システム等及び申請管理システム)、中間サーバー、住民基本台帳ネットワークシステム、電子申請システム				

2. 特定個人情報ファイル名

子ども子育て支援ファイル

3. 個人番号の利用

- ・番号利用法第9条第1項、同法別表9の項及び127の項。
- •番号利用法第9条第2項

法令上の根拠

・行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律別表の主務省令で定める事務を定める命令(平成26年内閣府・総務省令第5号)第8条第7号及び第68条

・名古屋市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律施行条例

4. 情報提供ネットワークシステムによる情報連携

①実施の有無	[実施する]	<選択肢> 1)実施する 2)実施しない 3)未定
		するための番号の利用等に関する法律第十九条第八号に基づく 令(令和6年デジタル庁・総務省令第9号。以下「番号利用法情報 及び155の項

5. 評価実施機関における担当部署

①部署	子ども青少年局保育部幼保企画課
②所属長の役職名	幼保企画課長

6. 他の評価実施機関

7. 特定個人情報の開示・訂正・利用停止請求

請求先

郵便番号460-8508

名古屋市中区三の丸三丁目1番1号 名古屋市スポーツ市民局市民生活部市政情報課

8. 特定個人情報ファイルの取扱いに関する問合せ

連絡先

郵便番号460-8508

名古屋市中区三の丸三丁目1番1号名古屋市子ども青少年局保育部幼保企画課

052-972-4644

9. 規則第9条第2項の適用

]適用した

適用した理由

Ⅱ しきい値判断項目

1. 対象人数						
評価対象の事務の対象人数は何人か		[[30万人以上 2) 1,000人以上1万人 3) 1万人以上10万人		1) 1,000人未満(任意実施) 2) 1,000人以上1万人未満 3) 1万人以上10万人未満 4) 10万人以上30万人未満	
	いつ時点の計数か	令和7年	9月1日 時点			
2. 取扱者	数					
特定個人情報	報ファイル取扱者数は500人以上か	[500人以上]	<選択肢> 1)500人以上 2)500人未満	
	いつ時点の計数か	令和7年	9月1日 時点			
3. 重大事	3. 重大事故					
	内に、評価実施機関において特定個人 重大事故が発生したか	[発生なし]	<選択肢> 1) 発生あり 2) 発生なし	

Ⅲ しきい値判断結果

しきい値判断結果

基礎項目評価及び全項目評価の実施が義務付けられる

Ⅳ リスク対策

1. 提出する特定個人情報保護評価書の種類

[基礎項目評価書及び全項目評価書]

<選択肢>

- 1) 基礎項目評価書
- 2) 基礎項目評価書及び重点項目評価書
- 3) 基礎項目評価書及び全項目評価書

2)又は3)を選択した評価実施機関については、それぞれ重点項目評価書又は全項目評価書において、リスク対策の詳細が記載されている。

2. 特定個人情報の入手(作	青報提供ネ	ットワークシス	テムを通じた入手	を除く。)	
目的外の入手が行われるリ スクへの対策は十分か	[十分である]	<選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている	
3. 特定個人情報の使用					
目的を超えた紐付け、事務に 必要のない情報との紐付けが 行われるリスクへの対策は十 分か	[十分である]	<選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている	
権限のない者(元職員、アクセス権限のない職員等)によって不正に使用されるリスクへの対策は十分か	[十分である]	<選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている	
4. 特定個人情報ファイルの	り取扱いの	委託		1]委託しない
委託先における不正な使用 等のリスクへの対策は十分か	[十分である]	<選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である	
				3) 課題が残されている	
5. 特定個人情報の提供・移転	を (委託や情	報提供ネットワ・	ークシステムを通じた]提供・移転しない
5. 特定個人情報の提供・移転 不正な提供・移転が行われる リスクへの対策は十分か	c(委託や情 [報提供ネットワ・ 十分である	ークシステムを通じた]]提供・移転しない
不正な提供・移転が行われる	Г	十分である		提供を除く。) <選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である]提供・移転しない
不正な提供・移転が行われる リスクへの対策は十分か	Г	十分である]	提供を除く。)<選択肢>1) 特に力を入れている2) 十分である3) 課題が残されている	
不正な提供・移転が行われる リスクへの対策は十分か 6. 情報提供ネットワークシ 目的外の入手が行われるリ	[ス テムとの	十分である]	提供を除く。)〈選択肢〉1)特に力を入れている2)十分である3)課題が残されている]接続しない(入手)〈選択肢〉1)特に力を入れている2)十分である	
不正な提供・移転が行われるリスクへの対策は十分か 6. 情報提供ネットワークシ 目的外の入手が行われるリスクへの対策は十分か 不正な提供が行われるリスク	[ステムとの [十分である 接続 十分である]	と選択肢 >	

8. 人手を介在させる作業	[]人手を介在させる作業はない
人為的ミスが発生するリスク への対策は十分か	<選択肢>
判断の根拠	業務独自の研修を定期的に実施するとともに、ダブルチェック体制等の人為的ミスが発生するリスクへの対策を講じている。
9. 監査	
実施の有無	[O]自己点検 [O]内部監査 []外部監査
10. 従業者に対する教育・	· 啓発
従業者に対する教育・啓発	<選択肢> (選択肢> 1) 特に力を入れて行っている 2) 十分に行っている 3) 十分に行っていない
11. 最も優先度が高いと考	えられる対策 [〇]全項目評価又は重点項目評価を実施する
最も優先度が高いと考えられ る対策	[<選択肢> 1) 目的外の入手が行われるリスクへの対策 2) 目的を超えた紐付け、事務に必要のない情報との紐付けが行われるリスクへの対策 3) 権限のない者によって不正に使用されるリスクへの対策 4) 委託先における不正な使用等のリスクへの対策 5) 不正な提供・移転が行われるリスクへの対策(委託や情報提供ネットワークシステムを通じた提供を除く。) 6) 情報提供ネットワークシステムを通じて目的外の入手が行われるリスクへの対策 7) 情報提供ネットワークシステムを通じて不正な提供が行われるリスクへの対策 8) 特定個人情報の漏えい・滅失・毀損リスクへの対策 9) 従業者に対する教育・啓発
当該対策は十分か【再掲】	<選択肢>
判断の根拠	

変更箇所

変更日	項目	変更前の記載	変更後の記載	提出時期	提出時期に係る説明
平成28年12月15日	5. 評価実施期間における担 当部署② 所属長	保育企画室長 加藤 仁	保育企画室長 竹内 美久	事後	人事異動
平成28年12月15日	3. 個人番号の利用 法令上の根拠	別表第1 94項 番号法別表第一の主務省令で定める事務を定める命令第68条第1項~第5項番号法第9条第2項行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例(案)	別表第1 8項 番号法別表第一の主務省令で定める事務を定める命等8条第7項別表第1 94項 番号法別表第一の主務省令で定める事務を定める命令第68条第1項~第5項番号法第9条第2項行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例(案)	事後	番号法等の改正に伴う修正 主務省令の改正に伴う変更及 び文言の整理
平成28年12月15日	4. 情報提供ネットワークシステムによる情報連携 ②法令上の根拠	(別表第二における情報照会の根拠) 別表第2 116項	(別表第二における情報照会の根拠)別表第2 13項 番号法別表第二の主務省令で定める事 務及び情報を定める命令第10条の3別表第2 116項 番号法別表第二の主務省令で定める事 務及び情報を定める命令第59条の2	事後	主務省令の改正に伴う変更
平成31年4月26日	I 関連情報 1.特定個人情報と取り扱う事 務 ③システムの名称	福祉総合情報システム、情報連携基盤システム、中間サーバー、課税資料照会システム、住 民基本台帳ネットワークシステム	福祉総合情報システム、情報連携基盤システム、中間サーバー、住民基本台帳ネットワークシステム	事後	運用の変更
平成31年4月26日	I.関連情報 5.評価実施機関における担 当部署	②所属長 保育企画室長 竹内 美久	②所属長の役職名 保育企画室長	事後	様式の変更
平成31年4月26日	IV リスク対策 1. 提出する特定個人情報保 護評価書の種類		基礎項目評価書及び全項目評価書	事後	様式の変更に伴う項目の追加
平成31年4月26日	IVリスク対策 2. 特定個人情報の入手 目的外の入手が行われるリス クへの対策は十分か		十分である	事後	様式の変更に伴う項目の追加
平成31年4月26日	IVリスク対策 3. 特定個人情報の使用 目的を超えた紐付けが行われ るリスクへの対策は十分か		十分である	事後	様式の変更に伴う項目の追加

変更日	項目	変更前の記載	変更後の記載	提出時期	提出時期に係る説明
平成31年4月26日	IVリスク対策 4. 特定個人情報ファイルの取 扱いの委託		十分である	事後	様式の変更に伴う項目の追加
平成31年4月26日	5. 特定個人情報の提供・移転(委託や情報提供ネットワークシステムを通じた提供を除く。) 不正な提供・移転が行われる		十分である	事後	様式の変更に伴う項目の追加
平成31年4月26日	6. 情報提供ネットワークシス テムとの接続 目的外の入手が行われるリ スクへの対策は十分か		十分である	事後	様式の変更に伴う項目の追加
平成31年4月26日	6. 情報提供ネットワークシス テムとの接続 不正な提供が行われるリスク への対策は十分か		接続しない	事後	様式の変更に伴う項目の追加
平成31年4月26日	7. 特定個人情報の保管・消去 不正な提供が行われるリスク への対策は十分か		十分である	事後	様式の変更に伴う項目の追加
平成31年4月26日	8. 監査 実施の有無		[O]自己点検 [O]内部監査 []外部監査	事後	様式の変更に伴う項目の追加
平成31年4月26日	9. 従業者に対する教育・啓発 従業者に対する教育・啓発		十分に行っている	事後	様式の変更に伴う項目の追加
令和2年11月2日	I 関連情報1特定個人情報 ファイルを取り扱う事務①事務 の名称	子どものための教育・保育(保育所等入所)に 関する事務	子どものための教育・保育給付(保育所等入所) に関する事務	事後	誤記の修正
令和2年11月2日	I 関連情報7特定個人情報の 開示・訂正・利用停止請求 請 求先	名古屋市市民経済局市民生活部市政情報室	名古屋市スポーツ市民局市民生活部市政情報室	事後	部署名の変更
令和3年11月15日		福祉総合情報システム、情報連携基盤システム、中間サーバー、住民基本台帳ネットワーク システム	福祉総合情報システム、情報連携基盤システム、中間サーバー、住民基本台帳ネットワークシステム、電子申請システム	事前	使用するシステムの追加に伴 う変更

変更日	項目	変更前の記載	変更後の記載	提出時期	提出時期に係る説明
令和3年11月15日	II しきい値判断項目3重大事故 過去1年以内に、評価実施機関において特定個人情報に関する重大事故が発生したか	発生なし	発生あり	事前	事案の発生に伴う変更
令和6年9月1日	表紙>評価書名		子どものための教育・保育給付等に関する事務 基礎項目評価書		
	の惟利利益の休護の旦言 	のプライハシー等の権利利益に与える影響を認識し、このようなリスクを軽減するための適切な 措置を講じたうえで、個人のプライバシー等の 振利利益の保護を実施していることを宣言す	名古屋市は、子どものための教育・保育給付等に関する事務における特定個人情報ファイルの取り扱いについて、特定個人情報の漏えいやその他の事態発生による個人のプライバシー等の権利利益に与える影響を認識し、このようなリスクを軽減するための適切な措置を講じたうえで、個人のプライバシー等の権利利益の保護を実施していることを宣言する。		
	I 関連情報>1.特定個人情報 ファイルを取り扱う事務>①事 務の名称	子どものための教育・保育給付(保育所等入所) に関する事務	子どものための教育・保育給付等に関する事務		

変更日	項目	変更前の記載	変更後の記載	提出時期	提出時期に係る説明
令和6年9月1日	I 関連情報>1.特定個人情報 ファイルを取り扱う事務>②事 務の概要	子ども・子育て支援法に基づき、就学前子ども について教育保育・給付にかかる支給認定を行い、保育所等の利用調整及び利用料等の収滞 納管理等を行うもの。	子どものための教育・保育給付等に関する事務は、子ども・子育て支援法及び児童福祉法に基づき、以下の事務を行う。 (1)教育・保育給付認定事務(認定要件の確認、認定区分の決定、給付) (2)施設等利用給付事務(認定要件の確認、認定区分の決定、給付) (3)負担区分決定事務(利用料階層の決定、実費徴収補足給付の実施) (4)保育所等の利用調整、) (5)民間保育所保育料、公立保育所保育料、公立場別保育所保育料、公立保育所保育料、公立場別児給食費、公立延長保育料の収滞納管理 上記の事務を行うために必要となる情報を入手するため、行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律(平成と5年5月31日法律第27号。以下「番号利用法」という。)第9条第1項、同法別表9の項及び127の項で定める範囲内で、他情報保有機関への照会を行う。		
令和6年9月1日	I 関連情報>3.個人番号の利 用>法令上の根拠	項 ・番号法第9条第2項に基づく行政手続におけ る特定の個人を識別するための番号の利用等 に関する	・番号利用法第9条第1項、同法別表9の項及び 127の項。 ・番号利用法第9条第2項 ・行政手続における特定の個人を識別するため の番号の利用等に関する法律別表の主務省令 で定める事務を定める命令(平成26年内閣府・ 総務省令第5号)第8条第7号及び第68条 ・名古屋市行政手続における特定の個人を識 別するための番号の利用等に関する法律施行 条例		
令和6年9月1日		で定める事務及び情報を定める叩う第10年の3 別表第2 116項 番号法別表第二の主務省令 で定める事務及び情報を定める命令第59条の2	<情報照会> ・番号利用法第19条第8号 ・行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律第十九条第八号に基づく利用特定個人情報の提供に関する命令(令和6年デジタル庁・総務省令第9号。以下「番号利用法情報提供省令」という。)第2条の表17の項及び155の項		

変更日	項目	変更前の記載	変更後の記載	提出時期	提出時期に係る説明
令和6年9月1日	I 関連情報>5.評価実施機関 における担当部署>①部署	子ども青少年局保育部保育企画室	子ども青少年局保育部保育企画課		
	I 関連情報>5.評価実施機関 における担当部署>②所属長 の役職名	保育企画室長	保育企画課長		
令和6年9月1日	I 関連情報>7.特定個人情報の開示・訂正・利用停止請求 >請求先	郵便番号460-8508 名古屋市中区三の丸三丁目1番1号 名古屋市スポーツ市民局市民生活部市政情報 室	郵便番号460-8508 名古屋市中区三の丸三丁目1番1号 名古屋市スポーツ市民局市民生活部市政情報 課		
令和6年9月1日	I 関連情報 > 8.特定個人情報 のファイルの取扱いに関する 問合せ > 連絡先	郵便番号460-8508 名古屋市中区三の丸三丁目1番1号名古屋市子 ども青少年局保育部保育企画室 052-972-4644	郵便番号460-8508 名古屋市中区三の丸三丁目1番1号名古屋市子 ども青少年局保育部保育企画課 052-972-4644		
令和7年9月1日	I 関連情報 5. 評価実施機関における担 当部署 ①部署	子ども青少年局保育部保育企画課	子ども青少年局保育部幼保企画課	事後	部署名変更による
令和7年9月1日	I 関連情報 5. 評価実施機関における担 当部署 ②所属長の役職名	保育企画課長	幼保企画課長	事後	役職名変更による
고세/#9月1日	I 関連情報 8. 特定個人情報ファイルの取 扱いに関する問合せ 連絡先	郵便番号460-8508 名古屋市中区三の丸三丁目1番1号名古屋市子 ども青少年局保育部保育企画課 052-972-4644	郵便番号460-8508 名古屋市中区三の丸三丁目1番1号名古屋市子 ども青少年局保育部幼保企画課 052-972-4644	事後	部署名変更による
令和7年9月1日	I 関連情報 1. 特定個人情報ファイルを取 り扱う事務 ③システムの名称	福祉総合情報システム、情報連携基盤システム、中間サーバー、住民基本台帳ネットワークシステム、電子申請システム	福祉総合情報システム、情報連携基盤システム(庁内連携システム、宛名システム等及び申請管理システム)、中間サーバー、住民基本台帳ネットワークシステム、電子申請システム	事後	文言の整理(システム詳細の追記)
	IV リスク対策 8. 人手を介在させる作業 判断の根拠	業務独自で研修をしっかりおこなっており、ダブ ルチェック等十分な対策を行っている。	業務独自の研修を定期的に実施するとともに、 ダブルチェック体制等の人為的ミスが発生する リスクへの対策を講じている。	事後	文言の整理(システム詳細の 追記)

変更日	項目	変更前の記載	変更後の記載	提出時期	提出時期に係る説明
令和7年9月1日	IV リスク対策 11. 最も優先度が高いと考えられる対策	【 】全項目評価又は重点項目評価を実施する。	【〇】全項目評価又は重点項目評価を実施す る。	事後	誤記の修正
	Ⅱ しきい値判断項目 1.対象人数 いつ時点の計数か	令和3年10月1日時点	令和7年9月1日時点	事前	時点修正
	II しきい値判断項目 2. 取扱者数 いつ時点の計数か	令和3年10月1日時点	令和7年9月1日時点	事前	時点修正
令和7年9月1日	Ⅱ しきい値判断項目 3. 重大事故 過去1年以内に、評価実施機 関において特定個人情報に関 する重大事故が発生したか	発生あり	発生なし	事前	時点修正